

あなたと町政を結ぶ

議会だより



みのぶ

2011
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.25



無病息災を祈り、どんどん焼き（下部地区）

撮影：小林 昭信さん

12月定例議会

- 町民と議員との懇談会 P2～3
- 12月定例会で決まったこと P4～6
- 町長行政報告 P7
- 一般質問に5議員 P8～11
- 【学校紹介】下山中学校 P14

膝を交えて「意見交換」 「町民と議員との懇談会」

● 懇談会の目的

この懇談会は、議員が議会運営状況や課題の取組み状況等について報告し、町民の皆さまからの意見や要望などを聴き、意思の疎通を図るため、町民の皆さまとの連携を図ることを目的に、昨年から年2回の予定で実施しています。

中富地区

- ・と き 平成22年10月23日(土)
午後7時30分より
- ・会 場 西嶋地区公民館
- ・参加者 合計34名(町民19名)+事務局1名
- ・出席議員 14名(内中富地区議員4名)

下部地区

- ・と き 平成22年10月29日(金)
午後7時30分より
- ・会 場 久那土 働く婦人の家
- ・参加者 合計17名(町民9名)+事務局1名
- ・出席議員 7名(内下部地区議員6名)+議長

身延地区

- ・と き 平成22年10月28日(木)
午後7時30分より
- ・会 場 下山地区公民館2F
- ・参加者 合計26名(町民13名)+事務局1名
- ・出席議員 12名(内身延地区議員5名)+議長

- ・と き 平成22年10月29日(金)
午後7時30分より
- ・会 場 大河内地区公民館2F
- ・参加者 合計16名(町民9名)+事務局1名
- ・出席議員 6名(内身延地区議員5名)+副議長



● 意見・要望 ●

- *相談窓口を設けるなど、意見要望を受け入れる仕組みをつくってほしい。
- *学校統合問題は、人口減少や過疎化の中で町の将来をどのようにすべきかを合わせて考えるべき。
- *学校統合は、答申のように何段階も経て実施するのではなく、一気にやってしまうべき。
- *文化の拠点、下山中・公民館がなくなることは地域の者にとっては寂しい。文化活動・交流の場がなくなってしまう。議員はしっかり受け止め、対応してほしい。
- *放棄地の活用はかなり進んでいると思う。私もいつまで畑をやれるか不安になる。今後とも対応・対策に取り組んで頂きたい。
- *懇談会開催について、他地区の議員にも出席していただきたい。他地区の話も聞きたい。
- *子どもが少なくなり将来へ不安が残る。民間の経営方針・知恵を活用し、角度をかえて地域活性化に取り組んでほしい。活性化インター入口の問題について、県と竹炭組合の話し合いにより、最終的に第4案として決定した。
- *7年前から山梨県身体障害者連絡協議会という組織があるが、県下の市町村議長宛て、第3回懇談会開催通知を出したが4人しか来なかった。議員として関心のある方は出席して頂き、身体障害者のため尽力をいただければ幸いです。
- *参加者が少ないことに対して、「議会として反省するところがある」と言っていた。これは町民に問題があると思う。「自由闊達に話ができる」という雰囲気がないと感じていると感じた。「そこに行けば分らないことが何でも聞ける」と言うように捉えることが大切。

●中富地区●

Q 1 学校統廃合問題を議会で議論するとあるが結果はどうか。	A 1 全員協議会で話し合っているが、まだ結論はでない。
Q 2 平成23年4月実施予定の静川・西嶋小の統廃計画はどうなったか。	A 2 統合は平成24年4月に先送りになった。
Q 3 西嶋水利組合、河床が土砂で埋まり取水がやりにくい。議会も町を通し要望してほしい。	A 3 詳細を文書化して要望書の提出を。

●身延下山地区●

Q 1 町で必死に取り組んでいることはあるか。あるいはそれに関連した取り組みがあるのか伺う。	A 1 補助金は規程を作ったり精査したりしながら個々に対応している。
Q 2 旧北小は解体されたが体育館は残ってる。定住促進のため、別の利用方法を考えては。	A 2 検討し、行政側と話し合っていく。
Q 3 湯町に下水道ができたがその加入率は。	A 3 本年10月1日に通水式を終えたばかり。加入率はまだ分からない。
Q 4 入湯税の滞納はどのくらいあるのか。	A 4 平成21年度末で1,200万円（概算）。
Q 5 職員の適正管理については。また、仕事量と職員数のバランスは。	A 5 合併により事務効率が悪く、類似団体平均を上回っている。町としては集中改革プランで適正な定員管理に努めている。
Q 6 ゴミ（プラ）の収集、資源として活用できるのであれば網・箱問わず収集してほしい。	A 6 青い網の袋でお願いしたい。袋は量販店でも入手できる。

●身延大河内地区●

Q 1 統合後の廃校舎（豊岡小学校）の活用は何かあるか。（北小体育館を含め）	A 1 具体的な活用方法は聞いていない。
Q 2 身延山を中心に観光ルートの検討を。	A 2 / A 3 意見としてしっかり受け止めた。今後にかかしていく。
Q 3 中部横断自動車道開通を見据え、静岡も近くなることから、山の中（限界集落等）に水族館を設け、観覧・養殖等で魚を安く提供するなどしたら、二つにも三つにもなると思うが。	
Q 4 「2小1中は白紙に戻すべき」とあり、議会は政策提案機関である。早めの方向付けをお願いします。	A 4 議会として論議に入っており、方向性を見出すため努力している。
Q 5 高校再編について議会はどのような考えをもって動いているか。	A 5 動いていない。来年早々会議（同窓会）が予定されている。

●下部地区●

Q 1 平成21年度決算について聞く。この決算は予算に対し「何が良くて何が悪いのか」。	A 1 臨時交付金、子ども手当とか特別交付金が予想以上に多かった。
Q 2 地方交付税の最低5年、出来たら10年間の推移をお願いします。予算・決算の比較も。	A 2 今後、去年との比較を出すようにする。
Q 3 中部横断自動車道の開通が待たれるところだが、身延町にはどのような経済効果が期待できるのか、また、町をどのようにしていくのか、考えがあったら教えてほしい。	A 3 観光面・防災面での期待が大きい。雨量150mmでの通行止め解消での工場誘致、国道300号へのアクセス、特に下部温泉郷・富士五湖への観光客増が見込まれる。
Q 4 合併に伴う特例措置は、今後4分の1になるのではないかと新聞で報じられた。この件に対して町の考えは。	A 4 集中改革プランにおける、行財政運営により財政健全化に向けて動いている。



決まりました

身延町12月定例会は、13日から16日までの4日間の会期で開かれました。この議会では、平成22年度一般会計及び特別会計補正予算8件をはじめ条例の制定及び一部改正4件、町道の認定1件を原案のとおり可決、人事案件1件を同意、請願2件は、1件が採択、1件は不採択となりました。一般質問は16日に5人の議員が登壇し、バイオマス構想など活発な質問を展開し、町当局の考えをいただきました。

主な質疑答弁

職員の勤務時間は

穂坂議員 勤務時間、休憩時間は、どのようになっているか。

広島総務課長 午前8時半から正午までと午後1時から5時15分までが勤務時間、正午から1時までが休憩時間である。

農村連絡施設等整備基金の使途は

穂坂議員 条例の名称を地域情報通信設備に変更して、ネットワー

ク下部（NWS）にSC Tの経営を移管するということに関連するものだと思うが、基金は全町的に使用できるようにするということか。

渡辺下部支所長 あくまでも、SC Tの経営移管に伴い、基金をそちらに使うという事で、10年分の支払いに充当するものである。

下部温泉の足湯

川口議員 この改正には、利用時間が含まれていないが、なぜか。

佐野生涯学習課長 本来、時間的なものは必須事項ではないので、規則で定めるようにした。

川口議員 利用時間は基本となるものだと思う。住民には、規則までわからないので、今後は、時間も明記する方向で改正作業を行うよう要望する。

草間議員 足湯の広さと、湯量は。

下部支所長 広さは32㎡、湯量、容量は1・6トンである。

草間議員 冬場は加温する必要があるのではないか。

下部支所長 冬季の気温等も考慮して、源泉かけ流しで、加温・加水等一切不要という熱量計算をしている。

穂坂議員 リバーサイドパークは生涯学習課、足湯は下部支所が答弁しているが、主管課はどこなのか。

下部支所長 下部高温源泉の管理は支所が行っている関係で教育委員会と協議の結果、足

湯施設も支所が行う。

教育関連の補正は

芦澤議員 ①歳入の教育費負担金は、歳出のどれに当たるのか。

②学校管理費の補助金160万円は、下山中17人分だが、何に使うのか。③下山中の引越費用110万円は適切な額なのか。④教育委員長報酬だが、今後、議会への出席が増えることが予想されるが、引

き上げは考えているか。

近藤学校教育課長 ①

教育振興費で、道徳教育の副読本購入予算②夏冬の制服、体育着、上履き、カバンの購入費③什器備品、書類の引越費用で、4トン車で8台、作業員30人の予定。

広島総務課長 ④教育委員長の報酬は、年額であり、議会へ出席しても増額はない。



完成した「しもべ黄金の足湯」

12月 定例会

こんなことが

設計と施工を同一業者にできないか

川口議員 ①エアコンの設計委託と設置工事費については、工事業者が設計もするのではないか。②下山中の統合については、今後、まだ補正予算を計上するののか。

笠井財政課長 ①設計業者による予定価格が出て、それに基づいて工事の入札をするという仕組みである。

学校教育課長 ②下山中の統合関連費用は、記念事業実行委員会に補助金400万円、制服等が160万円、引越費用が110万円で、現在合計670万円である。今後は、校舎等の取り壊し費用、スクールバスの運行費用等が考えられる。

制服の全額補助は望月明議員 制服等の

全額補助というのは、町民の理解が得られるのか。

学校教育課長 下山中の保護者は、学校で指定された制服等を全て購入してきたわけで、新たな負担を考慮して指定されたもののみの補助を決めた。

障害者関連補正は

渡辺議員 ①地域活動支援センター運営費補助金で、どこに何人行っているのか。②地域支援センター事業費の内容は。③障害者自立支援対策臨時特例交付金の内容は。

赤坂福祉保健課長 ①甲府住吉生活支援センターに1人、南アルプス市「きがる館」に2人。②日中の一時預かりの分と自動車運転免許取得助成に使用している。③4分の3の補助事業で、かじか寮に

323万円、グループホーム、ケアホームの移行促進事業費として使用している。

保育所関係補正は

松浦議員 民間保育所費中、次世代育成支援対策交付金と保育所特別保育事業推進費補助金の内容について説明を。

稲葉子育て支援課長 次世代育成支援対策交付金は、大野山と下山立正保育園の一時預かり助成金。特別保育事業推進費補助金は、保育所における乳児保育推進のための環境整備を行うもの。現在、大野山だけが対象。乳児3人以上、1歳児5人以上を保育している。町立保育所には対象者がいない。

職員手当の減額は

穂坂議員 ①共済費の減額は、給与改定に伴

うものであるという説明だったが、共済組合の原資の減少に伴う率の改定によるものではないか。②職員手当の看護、保健職だけが差が大きいのはなぜか。

総務課長 ①率の改定ではなく、育児休暇や産休に入った職員の出入りによるものである。②看護、保健職についても同様である。

保険給付費は

渡辺議員 保険給付費の内、居宅介護サービス給付費の伸びが7千万円というのは。

福祉保健課長 認定者の増加、居宅介護者の一時的施設利用が増加したことなどから、当初の5億8千万円では不足することが見込まれるので、今回7千万円を補正した。



特別保育事業推進が実施されている大野山保育園

一般会計補正予算

飯富病院耐震化交付金3751万円を補正

条例制定・改正

■職員の勤務時間、休暇等の条例

1日の勤務時間が15分短縮される。

■農村連絡施設等整備基金条例

名称が地域情報通信施設整備基金に変更される。

■下部リバーサイドパーク条例

足湯施設が設置されることに伴い、条例が制定される。

■高齢者保養施設条例

入浴時間が、年間をとおして「午前9時から午後7時」になる。
※以上、4議案は全員賛成で可決。

補正予算

【一般会計】

補正額

9553万円

補正後総額

93億7992万円

【主な歳入】

■県補助金 5022万円

■繰越金 3547万円

【主な支出】

■介護保険特別会計繰出金 1095万円

■重度心身障害者医療費助成 1440万円

■民間保育所運営費 920万円

■飯富病院耐震化市町村交付金 3751万円

※賛成14、反対1で可決。

【特別会計】

■国民健康保険補正予算

補正額 2088万円

補正後総額 21億5795万円

■後期高齢者医療補正予算

補正額 △1347万円

補正後総額 4億6725万円

■介護保険補正予算

補正額 9023万円

補正後総額 9億553万円

補正後総額

20億891万円

■簡易水道事業補正予算

補正額 79万円

補正後総額 9億6941万円

■農業集落排水事業等補正予算

補正額 △167万円

補正後総額 3634万円

■下水道事業補正予算

補正額 △7949万円

補正後総額 8億6644万円

※以上、6議案は賛成14、反対1で可決。

■青少年自然の里補正予算

補正額 128万円

補正後総額 4482万円

※全員賛成で可決。

認定

・上二9号線（西嶋地内）

人権擁護委員の推薦

・望月達也氏（下山）

昭和22年4月12日生

※全員賛成で同意

人事

請願

教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書

※全員賛成で採択。

採択。

増改築工事が完成した飯富病院



増改築工事が完成した飯富病院



12月定例議会

ここが聞きたい！

一般質問

12月定例議会では5議員が質問に立ちました。
以下はその要約です。

質問

環境施策について

答弁

方向性を議論検討し、
ビジョンを策定していきたい



野島俊博議員

問 新エネルギー導入の意義は。

環境下水道課長 石油

代替エネルギーとして、

地球環境の対応に資す

ることから、持続可能

な経済社会の構築に寄

与するとともに新規産

業の創出等にも貢献す

るなど、様々な意義を

有している。

問 策定事業は、新エ

ネルギー・省エネルギ

ーの両事業か。

環境下水道課長 新エ

ネルギー事業である。

質問

間伐材や竹の利用
促進等、新たな事
業おこしについて

問 今後の町の発展は、

産業の振興や雇用創出

といった経済の成長を

促すことにある。町長

の将来展望を伺う。

町長 町保有の地域資

源、新たな付加価値を

生み出す事業の創出は

絶対必要である。町は、

眠っている資源を活用

するために知恵を出し

合い、取組むコミュニ

ティ・ビジネスを応援

するとともに、新たに

起業する町民の皆さん

には、当初から同じテ

ーブルにつき、最大限

の努力・協力を行う。

質問

バイオマス（有機資源）活用
による地域おこしについて

答弁

バイオマスタウン構想、
何が有利か見極め検討する



望月秀哉議員

問 地球温暖化対策の一環として、バイオマ

スの活用による地域お

こしについて、町長の

考えは。

町長 本年度バイオマ

ス等クリーンエネルギ

ー導入の策定委員会を

組織し、今後、計画書

をまとめる予定である。

問

計画の細部につい

ては。

環境下水道課長 策定

委員会を設置、本町に

おいてどんなエネルギ

ー源が有るのか検討し

ている。

問 検討内容を具体的に。

環境下水道課長 6月

に庁内委員会を設置。

また、学識経験者、地

場産業経験者等14人に

より策定委員会を構成。

ここまで2回の委員会

を開催し、その後アン

ケート調査を実施。今

後、先進地視察を予定。

問 アンケート

調査の対象は。

環境下水道課長

抽出により住民

340世帯、企

業43社である。

問 バイオマス

について峡南衛

生組合でも研究

しているが、組

合との連携は。

町長 所長も策定委員
として参画してもらっ
ている。

問 本町の杉・檜等の
人工林、竹林の面積は。

産業課長 森林総面積

は2万4千ヘクタール。

内、人工林が約7千2

百ヘクタール。竹林は

272ヘクタール。

問 今後の本町の取り

組みについて町長の考

えは。

町長 太陽光・風力・

バイオマスも含め何が

有利なのかを見極め、

事業おこしを検討して

行かねばならない。



バイオマスの有効資源となる間伐材

質問 バイオマスタウン構想か 新エネルギービジョンか

答 弁
現在、ビジョン策定委員
会で検討中である。



芦澤健拓議員

問 石油・石炭・天然

ガスなど、有限な化石燃料から、無限と思われる太陽エネルギーと植物が合成する植物工

ネルギー（バイオマス）が推進している事業で、持続可能な社会にするための方策であるというの

が、この構想の策定市町村の中に、早川町が含まれているが、どのような取組みをしているか把握しているか。

政策室長 温泉宿泊施設のボイラーが老朽化したので、木質バイオ

産業課長 農地面積5

29ヘクタール、農家数1307戸、農業人口4079人、うち自給的農家が1180戸で販売農家が127戸である。専業農家42戸、兼業農家85戸という状況である。山林面積は3万200ヘクタールだが、林業の統計データがない。

問 人口の約3分の1が、農業になんらかの形で携わっているということだが、農林業の活性化について施策はあるか。

町長 耕作放棄地の問題や、T P P（環太平洋経済協定）の問題があり、重要な産業なので、改めて考え直してみたい。

問 バイオマスタウン構想については、省庁または県などから、働きかけがあったか。

政策室長 働きかけはあった。本町では新エ

ネルギービジョン策定委員会の中で、最も適したエネルギーは何かを検討している。

問 委員会の顔ぶれは。環境下水道課長 山梨大学花岡名誉教授、議会の産業建設常任委員長、身延町商工会をはじめとする民間団体代表、町からも財政課長、会計管理者等計14人が委員会を構成している。

問 その委員会の結論はいつ出るのか。

政策室長 23年2月をめどに結論をまとめる。

問 本町では、身延竹炭企業組合などのコミユニティビジネスが立ちあがっている。峡南衛生組合も、生ごみの堆肥化、竹を利用しての廃油処理などを行っているが、ほかにも環境関連のN P OやN G Oが存在するのか。それらの活動について把握しているか。

政策室長 「エコクラブ身延」という団体が収集した食物残さを飼料化し、その飼料で養鶏をし、安全・安心な卵を作って学校給食に提供し、道の駅で販売するなど幅広い活動をしている。

問 長期にわたって進めていく事業だが、今後の対応は。

環境下水道課長 庁内に委員会を作り、策定委員会ともやり取りをしながら検討している。

問 里山の再生のためには、有害鳥獣駆除を、周辺の町と連携し進める必要があると思うが、町長の考えは。

町長 峡南の広域で対応する考えである。

問 バイオマスタウン構想の可能性についてはどうか。

町長 持続可能な社会を目指すために、バイオマスタウン構想も含め環境や新エネルギーの策定を検討している。



竹の活用を図る身延竹炭企業組合

問 白紙撤回すべきという特別委員会の議決を、今後どう生かすのか

答 弁 議決ではないので、議会の総意であるとは言えない



渡辺文子議員

問 9月議会での一般

質問の中で、白紙撤回すべきとの特別委員会の結論は委員会のメンバーだけの問題だとの発言がありました。その議決を今後、どう活かすのか。

教育委員長 議事録の確認をしたが、調査特別委員長が調査の結果を報告しただけで議決はされていない。

問 たとえ、議決されていないなくても、特別委員会での結論の重みをどう考えるか。

あくまで参考だというのが参考にした部分はあ

決められたことをやる、これは当たり前、機関決定だから。

教育長 下山が1年、

静川・西嶋も1年遅れるものをまた1年というように進捗速度が遅くなった。これは皆さんの成果だと思う。

問 遅れてはいるが、無視をされ着々と進んでいる。白紙という考えは全然ないのか。

教育長 白紙というのはとても無理。合併協定で、合併後にするという前提がある。

問 私はこれ以上学校を減らすべきでないと思うが、やむを得ないと思う方もいる。しかし、きちんと説明し、納得する中で進めるというやり方ではなかったから、拙速であり、白紙撤回ということになったと思う。

教育長 私は決してそうは、思っていない。

質問 収納相談室の設置を

員の任務だ。福祉、税務、町民課など横の連携を取り、自宅まで行き相談に乗れるような相談室が必要だと思うが。

問 県と市町村が共同して滞納整理をする地方税滞納整理機構を設置し徴収強化をしてきたが、そのやり方は経済不況に苦しむ住民や払いたくても払えない住民に対する配慮が全

くないばかりか、納税者を保護しようとする姿勢は微塵もない。払いたくても払えないで苦しんでいる町民を親切に援助するのが役場職

が役場職



税等の相談が行われるコーナー

質問 リフォーム助成で地域の活性化を

問 仕事おこし効果として、全国的に急速に広まっている制度。住宅建設業者は、不況と住宅形式が変わったことで大工さんや建具屋さんなどの仕事が激減している。その一方で、大規模な耐震工事は財政的に困難だが、少し家を直したいという人も多い。町が補助金を出して、住宅リフォームの手伝いをすると同時に、建設業者の仕事おこしが出来る住宅リフォーム制度の創設を提言する。

町長 今後、県とも相談しながら検討したい。

問 中部横断道活性化インター設置に伴う活性化対策は

答 弁
活性化策を
早急に策定する



穂坂英勝議員

問 中部横断自動車道の完成時期の見通しは。

町長 市川三郷の六郷インターから富沢イン

ターまでの直轄区間は29年度中に開通すると国交大臣が明言している。

問 活性化インターの設置についてはどうか。

町長 身延山インターについては、おおむねできる。中富インターについても造ってくれる方向で検討している。

問 中部横断自動車道インター設置に伴う地

域活性化計画の策定は。

政策室長 活性化計画の策定は、まだして

いない。インターが決まりしだい活用策を検討する。23年度に役場内に中部横断自動車道活用プロジェクトチームを設置し検討する。

問 国民健康保険特別会計の安定化について

問 本町の国保事業は

医療給付費が国の基準より著しく高額であるため、事業運営の安定化措置を講ずる指定市町村に指定された。具体的対策は。

町民課長 医療給付費が非常に高い。全国平均1・14ベースだが本

町は1・19である。地域差指数が1・17を超えると国の指定になり、国の補助金が減らされるため、町の一般財源から補填しなければなら

ない。具体的には、医療機関の重複頻回利用を避けるためのレセプトチェックと指導、病院にかからないよう

な健康づくりのグループ活動、リズム体操等種々の事業を行っている。

問 保険税の見直しは。

町民課長 医療費は増額の兆しがある。財政調整基金を取り崩し、国保の特別会計決算を

している。22年度決算見込みは基金の取り崩し11億円を見込んでい

る。基金残金は1億円強となる。税収が伸びない状況と医療費が予想より多く基金の残高

るため、税率改正に向けて、国民健康保険運営審議会で協議している。

問 国保税の算定で、応能分の資産割を軽減することはできないか。

町民課長 所得割、資産割、均等割、平等割の4つで計算している。資産を持っている人

には応分の負担をしていただき、若い人たちがそれ以外の人たちに負担を軽減してもらう方法も含め運営審議会

で話し合いをしている。

問 行政改革の現状について

町長は公約の中で、

すくになすべき重要政策3点の中で、行財政改革の断行を挙げている。小さな役場、大きな仕事集団を目指した。

その具体的成果は。

町長 一生懸命頑張っている。評価は皆さんがしてくれると思う。

問 行革とは身の丈の合った行政、小さな政

府、機能的な行政機構の構築にある。集中プ

ランにもあるが具体的な対策として取り組んできたものは。

の中に実際の取り組みがある。職員数についても平成17年の259人が22年には222人となり、小さな役場になりつつある。

問 行革推進委員会での審議結果は。

政策室長 今回は行政改革大綱の内容等について検討してもらっている。



健康推進を目指して開催される福祉健康まつり

視察研修報告 議会の活性化を学ぶ



議会運営委員長

川口 福三

日時 22年11月15日

研修先 長野県山ノ内町議会

参加者 議員14人

山ノ内町議会は平成19年度より年1回地区ごと（5会場）で議会報告会を開催。当初は議会の活動報告（常任

委員会）を主に行ってききましたが、回を重ねるに伴い、参加者の要望で、現在は意見交換に重点をおいています。議会懇談会は常任委員会主体で担当分野の団体等と随時開催しています。また、議会活性化を図るために、議会の充実、住民への積極的情報交換、勉強会の開催等を実施しています。

委員会は主に、通年議会、議会基本条例の制定、反問権、夜間・休日議会の開催等、現在検討中です。

当日はこれらのことについて詳細に説明を受けた後、質疑応答を行い、最後に両町で意見交換を行いました。両町とも議会の活性化に真剣に取り組んでいます。

議会を傍聴しませんか。

次回3月定例会は、

3月4日から14日まで

一般質問は、

3月8日(火)です。

■お気軽に、お越しください。



「町民と議会との懇談会」で町民から行政に対し要望があり、この要望に対し町当局がどのように対応し、どうなっているかを追跡・調査をしました。

追跡1・・・県道9号 三澤・市之瀬間バイパスの整備促進について

回答・・・平成元年に西八代縦貫道整備促進期成同盟会が設立され、活動してきました。現在は町村合併が進み本町と市川三郷町の2町になりましたが、引き続き活動しています。同バイパスについては、未着手ですが、県は事業の検討をしていますので、今後も整備促進について同盟会や町で引き続き活動をしていきます。



整備が検討されている 県道9号（久那土地内）

追跡2・・・私有地（西嶋上二区 望月正様所有地）を町に提供するので、町道に認定し整備してほしい。

回答・・・12月定例議会で、全員賛成で町道に認定されました。今後は、町道として管理、整備されていきます。



町道に認定された西嶋上二区私有地

鴨川市議会議員が 本町に親善訪問

11月8・9日の両日、鴨川市議会議員が本町に親善訪問に訪れました。この親善訪問は、姉妹都市締結に基づき実施するものです。

8日は身延山参拝の後、対面式、交流会を行い両市町の親睦を深めました。

9日は身延駅前街路事業や指定管理者が取り組んでいる「きり絵の森美術館」を視察していただきました。

今後も諸事業や人的交流を通し、両市町が一層友好の絆を深めていきます。



鴨川市との対面式（総合文化会館）

モニター通信

このコーナーは、議会広報モニターさんに、通信用紙を送付し、議会だよりNo.24（前号）についての感想をお寄せいただいたものです。

ご協力ありがとうございました。

◇表紙について

- ・子どもたちが頑張っているところが良く出ていてとても良かった。
- ・元気な子どもたちは見ていて気持ちが良い。

◇町民と議員との懇談会

- ・良い試みだと思うので、これからも継続してほしい。
- ・住民の思っていることを多く聞くことは、とても良いことだと思う。

◇町長行政報告・監査委員決算審査意見書

- ・町税徴収率の低いのに驚いた。担当の奮起に期待する。
- ・決算審査意見書を興味深く読んだ。国が事業仕分けという形で財源の見直しをしているように、議員には客観的な姿勢を忘れないでほしい。

◇質疑答弁・9月定例会で決まったこと。

- ・質疑答弁とも簡潔にまとめてあり、読みやすかった。
- ・決算の金額は私たちとかけはなれた金額なので、多いか丁度いいのか分からない。

◇一般質問

- ・自然記念物指定（1～5）を初めて知った。ぜひ、一度行ってみたい。

◇学校紹介・編集委員会だより

- ・学校紹介は大変良いと思う。

組合議会

後期高齢者医療広域連合議会定例会

10月29日

◇保険料減免に関する条例の一部改正

療養の給付等の制限を受けた被保険者を保険料減免の対象とし、保険料減免手続きを緩和することで、制度の円滑な運営を図る。

◇一般会計補正予算

補正額 612万円

◇特別会計補正予算

補正額

11億9210万円

飯富病院組合臨時会

12月20日

◇平成22年度病院事業会計補正予算（第3号）

計補正予算（第3号）

広域行政組合臨時会

11月29日

◇広域行政組合職員給与条例の一部改正

◇平成22年度一般会計補正予算（第3号）

正予算（第3号）

補正額 ▲465万円

補正後総額

15億6081万円

峡南衛生組合定例会

10月22日

◇認定第1号 平成21年度一般会計歳入歳出決算認定

歳入総額

5億5405万円

歳出総額

5億3658万円

◇平成22年度一般会計補正予算（第2号）

正予算（第2号）

補正額

496万円



下山中学校

山地地区の中学教育を担い、2420余名の卒業生を送り出し、多くの優れた人材を輩出してきました。しかし、この伝統ある下山中学校も、惜しま

『64年の歴史に幕』 下山中学校

下山中学校は、新学制の実施に伴い、昭和22年4月1日「下山村立下山中学校」として、下山小学校旧校舎に併設して開校されました。今年度で64年目を迎えます。この間、下



れつつも、この3月末日をもって閉校することとなりました。

閉校するにあたり、「ここに下山中学校の存在を止めおくために」と、記念碑の建立、記念誌の発行、さらには思い出に残る式典を、下山地区あげて取り組もうと、順次活動しています。すでに、第一部式典を第40回银杏祭（学園祭）と並行して、9月11・12日の両日に渡って開催しました。2日間延べ430余名の参観者を得、盛大に挙行することができました。式典のなかでは、下山地区の伝統芸能として語り継がれている「下山甚句」「大庭万歳」「荒町お神楽」をはじめ「上沢太鼓」や「虹の会」のコーラスが披露されました。生徒たちも、例年実施している「ソーラ

ン節」に豪壮な太鼓のお囃子を添え、勇壮に踊りきることができました。在校生並びに卒業生、下山中学校に集った多くの皆さまの心に残る式典ができた、うれしく思っています。

また、本校の特色でもある農園活動では、ジャガイモや大根が例年になく豊作で、地域の皆さまにもお配りし、喜んで頂きました。地域に支えられ、地域と共に歩んできた下山中学校が、閉校となることは、残念ですが、残り少ない日々を有意義に過ごし「有終の美」を飾るべく取り組みでいきます。

（校長 望月 眞）



银杏祭で「ソーラン節」を披露する下山中生徒

編集委員会 だより

厳しい猛暑と、秋を飛び越え訪れた寒い冬。日本独特の四季のうつろいが乱れ、異常続きの気象に不安と戸惑いを感じました。同時に人間の非力と、自然の中で生かされている摂理をも痛感しました。地球の環境は自然との共生です。町の運営は町民との協働です。我がふるさととの町づくりの推進には、互いの考えを語り理解し合う場が必要です。その橋渡しが『町民と議会との懇談会』です。立場を越えて腹を割って話し合えば、道は必ず開けると感じています。自然の中で生かされている、同じ身延町民の私たちですから。

松浦 隆